

令和 8 年第 1 回土幌町議会定例会

行 政 報 告

令和 8 年 2 月 1 2 日

本日ここに、令和8年第1回定例町議会を招集いたしましたところ、議員各位には極めてご多用の折りにもかかわらずご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

それでは、昨年12月定例町議会以降、現在までの町政の推移についてご報告申し上げます。

はじめに、認定こども園及びこども発達相談センターの移転新築工事の進捗についてですが、現在、内装仕上げ及び設備・電気工事を施工し、今月末の完了に向けて工事を進めており、12月10日には、両施設の備品購入に係る指名競争入札を執行し、4月1日からの円滑な開園等に向けて順次準備を進めているところであります。

次に、12月12日に第2回空家等対策協議会を開催、管理不全空家及び特定空家の判断基準、空き家・空き地バンク設置、空き家相談会を議題として提起し、各議題について承認をいただきました。今後、いただいたご意見を踏まえ事業を実施し、町内の景観の保全や空き家近隣住民の方々へ危険がおよばないことを第一義に捉え、空き家の解体等に結びつけていきたいと考えております。

次に、12月17日に第2回士幌町地域公共交通活性化協議会を開催、秋季町づくり懇談会でいただいたご意見も踏まえた来年度の乗合交通の実証運行案を提示しました。委員の皆様からは、貴重なご意見と実証運行案に対する承認をいただき、本年10月からの乗合交通の実証運行のため、さらなる周知等を行い、町民皆様の町内全域での生活の足をしっかりと確保する取り組みを進めて参りたいと存じます。

次に、12月18日に第2回行政改革推進委員会を開催、第8期行政改革推進大綱及び推進計画の最終案を提示・諮問し、答申をいただきました。富田会長から答申の際、「町長自らによる強力なリーダーシップの下、定員管理の適正化・職員の資質向上を図りながら、世の中の情勢に応じた事務事業の見直しなどの行政改革推進体制の強化を図ることにより、次の100年、次世代の子ども達のために持続可能な財政運営等を行い、最終的に基金の積み増しができるようになることを望みます。」と貴重なご意見をいただいたところです。

次に、個人版ふるさと納税についてですが、事業開始以降初めて、12月末時点で5億円を突破しました。

3月までの1年間の数字として過去最高を更新できるよう、さらなる寄附の獲得に努めて参ります。

また、企業版ふるさと納税については、現時点での寄附実績は5件となっており、その中の2件に対して、1月19日・1月28日に感謝状の贈呈をさせていただきました。引き続き、地方創生の推進を図るため、士幌町の魅力を発信していきながら、士幌町に関わっていただける町外の皆様及び町外企業からの寄附の獲得に努めて参りたいと存じます。

次にゼロカーボンの推進についてですが、過去最多の6者に参加いただいたプロポーザル審査を経て、1月28日にステラグリーン株式会社とJクレジットの連携協定を締結しました。今後、Jクレジットの創出・販売と事業は複数年にわたって展開していきますが、昨年11月1日の暴風雨の被害で倒木のあった森林の再造林の原資にも活用し、CO2吸収量の増加に寄与するなど、ゼロカーボンの推進への好循環につながるよう実施して参りたいと存じます。

次に、12月の第5回臨時会において補正予算を可決いただきました、国の「物価高対応子育て応援手当」

について現況を報告します。この事業は、0歳から高校3年生までの子どもを養育する保護者に子ども1人当たり2万円を支給するもので、対象358世帯には、昨年中に意思確認書と制度のチラシを発送しており、今月中の支給を目指し事務手続きを進めているところでございます。

次に、国の「物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、エネルギー、食料品価格などの物価高騰の影響を大きく受けている町民の経済的な負担軽減を目的とした「物価高騰対策商品券事業」については、昨年12月末時点で士幌町に住民登録をされている全町民5,610人（2,748世帯）へ、1人当たり1万5千円分の商品券8,415万円分を配付したところであり、食料品や生活用品をはじめ、家庭燃料など広く利用されることにより、家計負担の軽減と町内での消費喚起、商工業活性化などに、大きな効果が得られるものと期待しております。

次に、道の駅ピア21しほろについてですが、食材や人件費高騰の影響を受け、厳しい運営状況が続いており、4月から12月末までの施設来場者数は、前年

比1千人減の33万2千人、(前年33万3千人、コロナ前36万人)となりました。

また、売上高に関しては、前年を上回るペースで推移しておりますが、一方で、経費の増加が見込まれますので、今後も収益性に注視し、観光需要・消費動向を見極めつつ、指定管理者である士幌町商工会、施設利用者であるJA士幌町、at LOCALをはじめ、町内出品者などと連携し、地域の活性化につなげるべく様々な取り組みを進めて参りたいと存じます。

次に、しほろ温泉プラザ緑風についてですが、グラウンドオープンから10か月が経過し、町内外から多くの入浴・宿泊客に来訪いただいているところです。引き続き、施設の指定管理者や関係事業者と連携し、安心・安全な施設運営の継続とあわせて、観光需要の回復に向けた効果的な施策の検討及び必要な支援の実施に努めて参りたいと存じます。

次に、農業情勢についてですが、令和7年産農畜産物に係る十勝管内農協取扱高は、概算で3,846億円と報じられましたが、世界的な情勢不安に伴う資材や燃料価格の高騰が続き、農業経営を大きく圧迫する状

況にあります。また、昨年7月の酷暑による干ばつ被害など、気候変動への対応も急務となっております。

このような「正解のない時代」において、地域農業を守り抜くために最も必要なもの、それは「人」の力であり、これからの農業の担い手は持続可能な農業の実現に必要な幅広い見識や鋭い経営感覚、豊かな人間性が求められるところであり、それらを育む場として、1月23日に「しほろ農業塾」を開講いたしました。

基幹産業である農畜産業が持続可能なものとなるよう、引き続き、関係機関との連携の下、安心で安全な農畜産物の供給並びに経営の安定に向けて、効果的な取り組みを展開して参りたいと存じます。

次に、各種建設事業の執行状況ですが、既に発注済みの工事は概ね完成しておりますが、現在施工中の工事についても、当初の契約工期のとおり年度内に完成する予定であります。

次に、行事等の経過についてですが、1月5日には、町功労者表彰式並びに新年交礼会を開催し、町功労者表彰では、自治功労賞 河江 信一 さん、産業功労賞 加藤 邦彦 さんを始めとする2個人4団体が受賞されま

した。

引き続き開催した新年交礼会には、町民をはじめ町内外の各関係機関の代表者ら74人のご参加をいただいたところであります。

1月11日には、「士幌町はたちの集い」を開催いたしました。民法の改正により成人年齢が18歳に引き下げられましたが、本町においては、引き続き20歳を迎えられる方を激励する会として開催、当日は対象者81人のうち、58人が出席、たくましく成長されたことを祝い、これからの未来が希望に満ちたものであるよう、若い力に大きな期待をしたところであります。式典では、斉藤 ひまり さんが成人を代表して「誓いの言葉」を宣誓され、心に残る集いとなりました。

受章関係では、永年にわたり士幌町議会議員として地方自治の発展のため尽力された柏野の加藤 宏一さんが北海道社会貢献賞を受賞され、12月10日に伝達を行っております。

また、永年にわたる家畜診療業務の従事と家畜衛生思想の普及並びに家畜防疫体制の整備等に尽力され、北海道の農業振興に寄与されたとして、高德の時光 宏

三さんが北海道産業貢献賞を受賞され、2月16日に表彰式が執り行われます。

次に、国民健康保険病院の令和7年度決算見込みについてご報告申し上げます。

患者の見込数では、前年度対比で入院は103.4%の12,078人、外来は107.1%の16,415人となる見込みであります。

決算見込額については、病院事業収益で前年度対比1,980万6千円増の4億2,869万3千円となり、入院で2,334万5千円の増、外来で654万8千円の増となる見込みであります。

病院事業費用は、前年度対比5,943万5千円増の9億6,097万4千円となり、給与費で4,965万4千円、経費の委託料などで659万円の増となる見込みです。

収益と費用を差し引いた収支不足額は、前年度対比3,962万9千円増の5億3,228万1千円（他会計負担金を含まない実質純損失額）となる見込みであります。

一般会計が負担する他会計負担金として、前年度対

比4,000万円増の4億6,000万円を繰り出すと、令和7年度純損失額は7,228万1千円となる見込みであります。

なお、詳細につきましては、「決算見込の状況」として資料を添付してありますのでご参照願います。

令和7年度は、常勤医師が昨年度に比べて1人増の3人体制でスタートしたこともあり、午後の一般診療の再開に加えて毎月第2・第4木曜日に夜間診療を実施するなど、少しずつではありますが、診療に関する利便性の回復と向上に努めて参りました。

現在、4月以降の診療体制について、非常勤医師の確保も含めて関係機関と協議や調整を進めているところですが、いずれにしましても、町内唯一の医療機関である国保病院が地域医療の役割を十分果たせるよう、引き続き、医療サービスの向上や病院改善に取り組んで参ります。

最後に、今期議会に上程しております案件は、令和7年度補正予算5件、3月8日に町長選挙がありますので、政策予算を除く経常経費を計上した骨格予算となる令和8年度各会計予算8件、人事案件3件、新規条

例の制定及び条例の一部改正 6 件をあわせ、22 件で
あります。

提出議案について、それぞれ詳細をご説明いたしますので、充分ご審議をいただき、可決賜りますようお願い申し上げ、行政報告にかえさせていただきます。